

自社の魅力を再評価し、 地域との信頼関係をさらに深める

株式会社 ささもと建設様は東京都青梅市で創業44年余の実績を誇り、開発が進む周辺地域とともに歩んでこられました。近年、株式会社 ツタエル様※のコンサルティングを機に自社の魅力を再認識し、発信力を高めてお客様とのつながりを深めておられます。その結果、親近感を持って見学会に来られるお客様が増えているとのことです。営業係長の 笹本 修様にお話をうかがいました。

株式会社 ささもと建設

営業係長 笹本 修 様



家づくりに役立つ情報誌なども発行。
地域の話題も掲載していて親しみが持てます



社屋前を通るかたに楽しんでいただこうと、季節ごとに工夫を凝らした飾り付けをされています。
12月にはイルミネーションも点灯。12回目になりました



ホームページはこまめに更新し、新鮮な情報を発信。
お客様からのお期待に応えておられます



毎週月曜日に実施されている地域の美化活動。
きれいなまちづくりをみんなでお手伝い



農園委員会のメンバーが無農薬野菜を育てておられ、
秋の芋掘り大会にはお客様をご招待されます



「出会いから竣工へ。そして、さらに10年、20年後もおつきあいさせていただきたいと願っています」。
お客様との思い出が詰まった写真の前でお話になる笹本修様



「ブログのページには身近な話題を掲載しています」と営業係長の福原康洋様

**アイデアを実行に移し
大きな発信力に**

長い営業活動で出会ったお客様のなかには、「今は自己資金が足りない」と計画を延期され、数年後に再度ご来社。ご成約になるといううれしい例がありました。こうした信頼関係を築くための一助として、十数年前から感謝祭やもちつき大会を開催。今では見込み客様やO・B施主様、近隣にお住まいのかたなど、数百名がご来場になります。まだまだ工夫の余地はあります。これも当社が続けてきた大切な取り組みです。

ツタエル様との出会いを通して得た確信を支えに、今後もお客様や地域のみなさまへ、さまざまな発信を続けていきたいと思います。

きっかけに和やかなムードで話が展開するのは、ご成約に続く階段を一段上がった状態。今は、確かな手応えを感じています。

リニューアルに向けて何度も勉強会を実施し、「時間をかけたヒアリング」「適切な資金計画の提案」「ささもと独自ルールによる安全性の追求」などを営業方針と決めました。これらは以前から取り組んできたことでしたが、勉強会を通して改めて価値に気付き、会社のポテンシャルを引き出す契機になりました。また、全社員で営業方針を共有できたことも成果の一つ。お客様の応対に貫通性が生まれ、これまで以上にご信頼いただけるようになりました。

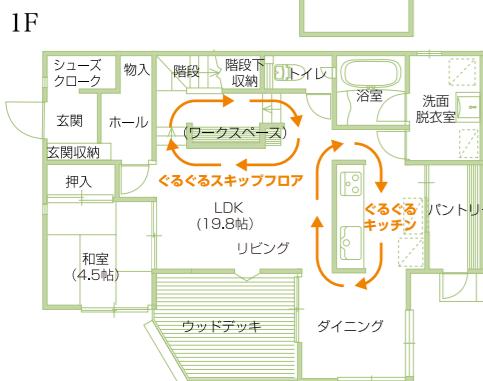
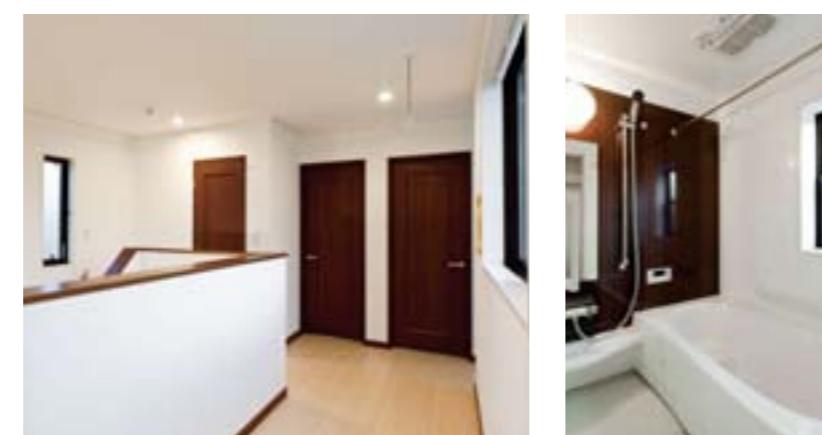
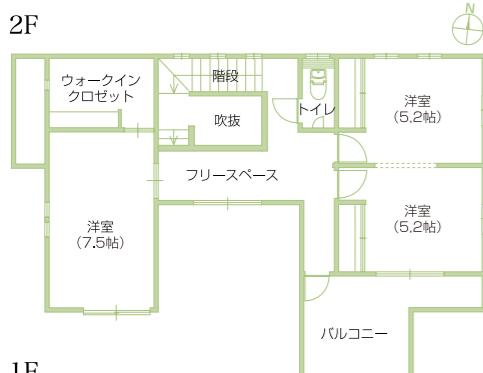
ホームページ・ブログの完成後は、当社に親近感を持つて見学会に来られるお客様も増えました。ブログの身近な話題を

ホームページを見直し 発信力不足の解消へ

ささもと建設は材木店として創業。その後、都心への通勤圏である青梅・西多摩エリアを中心に、住宅や店舗の建設を手がけて23年になります。その実績を背景として地道な営業活動を続けてきましたが、情報発信は得意と言えませんでした。そこで、ツタエル様にホームページを一新するサポートをお願いしました。



■DATA
所在地: 青梅市新町5-31-11
建築・施工: 株式会社 ささもと建設
設計: 株式会社 ささもと建設
敷地面積: 209.00m²
延床面積: 125.04m²
構造・階数: 木造2階建て(在来工法)
竣工: 平成23年4月



おしゃれで快適に 小さな子供たちと暮らす

スキップフロアはリビングから一段高い位置にあるため、リビングで遊ぶ子供たちを見守るにはうってつけ。パソコンやホームシアター操作用のスペースとしても高さの違いが効果を発揮します。家族と過ごす時間を増やすためにも、効率良く済ませたい水廻りのお掃除。バスルームに採用した「ココチーノ」の浴槽は、素材にはつ水・はつ油成分を配合しているので汚れにくく、美しいツヤが長持ちするのが特長。「リビングステーション」のスキマレスシンクもお手入れのしやすさに定評があります。

このほか、主婦の注目度が高いパントリーやバルコニーに直結した通路の利便性もご体験ください。

- With パナソニック**
- パナソニック キッチン リビングステーション Sクラス
 - パナソニック バスルーム ココチーノ Sクラス
 - 洗面ドレッシング シーライン
 - 部屋干しファン™ せんたく日和®
 - テレビドアホン
 - 内装ドア、階段、手すり リピエシリーズ
 - 木質床材
 - 雨とい シビルスケアPC50

スキップフロアもキッチンも視界良好 温かいまなざしが家族に届くモデルハウス

case1

ささもと建設青梅住宅展示場「ぐるぐるハウス」

ささもと建設青梅住宅展示場の愛称は「ぐるぐるハウス」といいます。リビングに接するスキップフロアやキッチンの「リビングステーション」の周囲はぐるぐる回転線が交差せず、スマートに移動できるのが特徴の一つだからです。

ぐるぐるハウスは、お客様のヒアリングを進めるなかで、話題となる設備や構造を集約した住宅。ささもと建設独自の全構造やこだわりもご覧いただけます。

「ささもとルール」で、 より安全性の高い住まいに

注文建築は長期優良住宅の安全基準クリアが標準仕様ですが、さらに独自に展開する安全性向上のルールもあります。例えば、リビングに立つ柱は、「入り口の構造下には柱を設ける」というルールを見ていたくだらぬもの。「柱の間隔は二間以内」というルールも設定しています。長年の経験から柱に集成材を採用しているのもこだわりの一つ。集成材は振動によつて動きにくい特徴があり、上に貼つたクロスにずれが生じにくいのです。長期間、心地良く住むための工夫です。

スマートな移動を実現 交差しない動線で